

学会：：第74回日本体力医学会大会（@つくば2019年9月19日(木)～21日(土)）

演題：健康ポイント事業参加者の事業参加要因に関する分析-SWCプロジェクト 55-

発表者名：千々木祥子^{1,2)}、塚尾晶子²⁾、方恩知¹⁾、久野譜也¹⁾

所属名：1) 筑波大学大学院人間総合科学研究科、2) つくばウエルネスリサーチ（株）

抄録本文：

【背景】2018年度時点で、563市町村がインセンティブを活用した事業を実施していることが報告されている。インセンティブ事業の参加要因は、複数挙げられると考えられるが、特にインセンティブにどのような要因がどの程度影響しているかは明らかにされていない。

【目的】インセンティブが、参加者の事業参加にもたらす影響を明らかにすることを目的とする。

【方法】分析対象者は、2014年11月～3月、2015年8月～3月に入会した6市に在住する40歳以上の中高齢者12,616人のうち、参加時歩数及びアンケートデータを有する者5,809人とした。分析項目は、属性、歩数、体組成、健康意識、インセンティブの反応度、参加の決め手となった情報源とした。

【結果】「インセンティブ」に直接的に影響をもたらす要因に「歩数」、「セルフエフィカシー」、「ヘルスリテラシー」が挙げられ、間接的に影響をもたらす要因に「学歴」が挙げられた。

【結論】インセンティブに直接影響する要因は複数挙げられ、特に、歩数、セルフエフィカシー、ヘルスリテラシーが直接影響することが挙げられた。

キーワード1（英語）：Incentive

キーワード2（英語）：Participation

キーワード3（英語）：Municipality

総文字数 520 文字以内